

みんなで見つけた「えりも宝」

町民向けアンケートで集まったご意見を中心に、えりも町のすてきなところ「えりも宝」を紹介します。

えりも町文化財保存活用地域計画 目標 (仮)

昆布と共に歩んだ町の「えりも宝」を調べ・守り・未来へ繋ごう

◆ 昆布漁業を中心に、厳しい自然の中で発展してきた町ならではの漁撈文化を調査・発信し、地域の宝物として次世代へ継承するための取り組みを行います。

◆ 文化財・歴史、自然、景観、食文化、アイヌ文化などを「昆布目線」で再発見し、担い手である町民の誇りと自信につなげ、活気にあふれた町を目指します。

本事業は令和5年度文化庁芸術振興費補助金（地域文化財総合活用推進事業）の補助を受け実施しています。

文化庁



ミズバショウ



うみやまさち海山幸フェスティバルでのえりも高校生による駒踊り



さんぼんいわ三本岩



とせつぶだいみやうじん 當世武大明神の狛犬



えりも短角牛



しょうわ 昭和40年(1965年) こんぶり魚 昆布漁



かんばいっばい ひろ 干場一杯に広げられた昆布



フノリ採り

豊かな海の恵み 豊富な海産物

ミツイシコンブ、サケ、ハタハタ、マダラ、スケソウダラ、ブリ、サバ、ハツカク、キンキ、マツカワ、ソウハチガレイ、サメガレイ、ババガレイ、アブラコ、ウニ、トウダイソブ、マツブ、エゾパイソブ、ホッキ、シロガイ、タラバガニ、オオズワイガニ、ケガニ、ナマコ、ミズダコ、ヤナギダコ、マツモ、フノリ、クロバギンナンソウ、ポタンエビなど

日高山脈の自然

- ◆ えりも町最高峰 豊似岳 (1,105m)
- ◆ 多様な高山植物が生育するルチシ岳 (754m)
- ◆ えりも町の天然記念物・豊似湖のニホンザリガニ
- ◆ 国史跡・猿留山道
- ◆ 多様な動植物：クマゲラ、エゾライチョウ、ナキウサギ、イズナ、ケショウヤナギ、カキラン など
- ◆ 独特な地形・地質

えりも町全域でみられるすてきなもの

- ◆ 昆布漁
- ◆ 昆布の漁獲量、日高管内 No.1!
- ◆ “日高昆布の聖地” えりも
- ◆ 魚・貝・海藻…四季のうつろいと共に営まれる漁業
- ◆ 春のフノリ、夏の昆布、秋のハタハタ、冬のスケソウダラ・タラ漁の他、一年中行われるタコ漁など
- ◆ 先史時代のひとびとの暮らし
- ◆ 町内 67 か所の埋蔵文化財包蔵地
- ◆ 夏季に強く、冬季には特に強く吹きわたる風



サケの飯寿司



ハタハタの飯寿司



サバの飯寿司



サメガレイの飯寿司



ホッキの飯寿司



フキの粕漬け



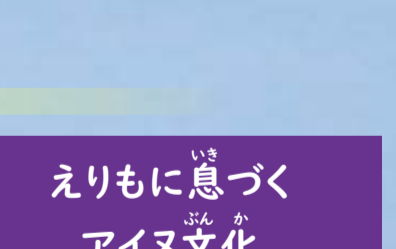
しょうわ 昭和40年(1965年) つけものコンクール 審査の様子



貝の化石(襟裳岬) 襟裳神社例大祭での小町会の踊り



しょうわ 昭和42年(1967年) しょうや 庶野さくら公園でのお花見



エゾオオサクラソウ

近浦地区

- ◆ 近浦稲荷神社
- ◆ ニカンベツ川 (かんらん岩・蛇紋岩でできた地質)

笛舞地区

- ◆ 笛舞稲荷神社
- ◆ タコばけ縄漁
- ◆ ウェンコタンチャシ跡

大和地区

- ◆ 南部家川
- ◆ えりも栽培漁業センター

新浜地区

- ◆ えりも神社
- ◆ 郷土資料館
- ◆ 三角山

本町地区

- ◆ 能入寺・法光寺・善生寺・大法寺・光明寺
- ◆ 国登録有形文化財・幌泉灯台記念塔
- ◆ 無形文化財・郷土芸能 えりも駒踊り

歌別地区

- ◆ 歌別稲荷神社
- ◆ 上歌別神社
- ◆ 歌別川と歌別川
- ◆ さけ・ます孵化場

東洋地区

- ◆ 歌露稲荷神社
- ◆ 油駒稲荷神社
- ◆ えりも短角牛
- ◆ 油駒チャンシ跡
- ◆ 三本岩

庶野地区

- ◆ 庶野稲荷神社
- ◆ シバナ・ウミミドリ
- ◆ 當世武大明神
- ◆ 庶野さくら公園
- ◆ どんどん岩
- ◆ タコばけ縄漁

目黒地区

- ◆ 目黒稲荷神社
- ◆ 水力発電設備跡
- ◆ 猿留川と猿留川
- ◆ さけ・ます孵化場
- ◆ 豊似湖
- ◆ 猿留山道

えりも岬地区

- ◆ 襟裳神社
- ◆ 迦葉院
- ◆ マンモス白歯化石発見の地
- ◆ 国有林緑化事業発祥の地
- ◆ 無形文化財・郷土芸能 襟裳神楽

百人浜

- ◆ 海岸林(カシワ・ミズナラ・ハンノキなど)
- ◆ シトウ(悲恋沼)
- ◆ ヘイケボタル(7月)

名勝・ピリカノカ

- ◆ オンネエンルム 襟裳岬
- ◆ 周氷河地形
- ◆ 海蝕崖
- ◆ 多様な動植物：海鳥、高山植物、ゼニガタアザラシ
- ◆ 襟裳岬灯台

えりも町の西側に沈む夕日

えりも町の東側海からのぼる朝日

昆布を中心とした漁業と厳しい自然が育んだ、えりも町の宝物「えりも宝」

漁場を支える 豊かな自然

- ◆ とっても大事なミツイシコンブ(日高昆布)
- ◆ 大地と森の多様性が育む豊かな海
- ◆ 「北海道の背骨」日高山脈に形作られた陸と海
- ◆ マンモスが踏み歩いた大地
- ◆ 漁師さんの親友でありライバルでもある「風」

昆布で感じる季節 薫る景観

- ◆ 昆布のにおいと共にある景観
- ◆ 昆布漁船がひしめく夏干場に広がる昆布・風に揺れる昆布
- ◆ 沖をいりどる漁船と漁火
- ◆ 海・山・朝日・夕日を一望できる襟裳岬
- ◆ 凶漁の年の命綱「えりも短角牛」の放牧風景

重労働を支える おいしい食

- ◆ 昆布漁の合間、青空の下、干場でみんな集まって食べる思い出の味「まかない料理」
- ◆ 昆布巻きから揚げ物まで、和洋多種多様な昆布料理
- ◆ 昭和33年(1958年)開始、開催58回! 「つけものコンクール」で磨かれ続けるえりも家庭の味

えりもの暮らしの足跡 文化財・歴史

- ◆ 海で生きる人々の命を守った「幌泉灯台記念塔」
- ◆ 人の手で失われた森を人の手で再生させた「百人浜の緑(緑化事業)」
- ◆ 厳しい環境の中で国を守るために作られた「猿留山道」・「塹壕跡」
- ◆ 入植者の心のよりどころ 寺院・神社

えりもに息づく アイヌ文化

- ◆ アイヌ民族の観察眼の鋭さを感じるアイヌ語地名
- ◆ 少なくとも300年は続く昆布漁の礎を築いたアイヌ民族
- ◆ “カムイの髪”として大切にされた、アイヌ民族の聖地・襟裳岬の昆布
- ◆ アイヌ民族の案内により開削された「猿留山道」

お問い合わせ先：えりも町郷土資料館ほろいずみ・水産の館 (2-2410)